

令和5年度全国高校総体(インターハイ)に参加して参りましたので、結果を報告いたします。

今大会は、「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」と副題のついた大会で、陸上競技は札幌市の厚別公園陸上競技場にて、8月2日～6日の期間で開催されました。全国ブロック予選を勝ち抜いた勇者たちの熱い戦いが繰り広げられ、本校からは3名の選手が出場しました。

藤田 貫佑(3) 男子800m 予選5組 1'53"87 5着

準決勝進出とはなりませんでしたが、自己ベストに近いタイムで最後まで走り抜きました。やり切った笑顔が印象的です。



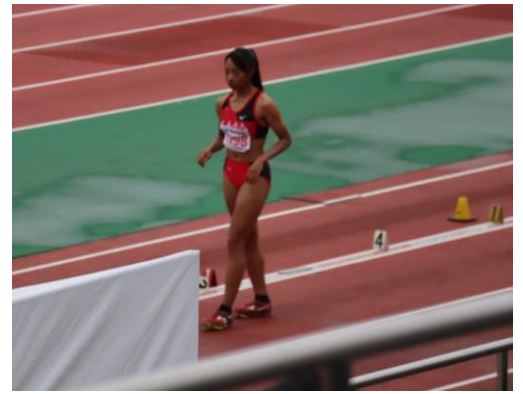
長谷川 沙良(3) 女子走幅跳 予選2組 5m67 9等

予選の3本で本来の実力を発揮できず、決勝進出とはならず、悔しい結果となりました。

女子三段跳 予選2組 12m24 2等 ⇒ **決勝進出!**

決勝 12m12 9位

1本目から予選通過ラインを突破する跳躍を繰り返し全体5番目の記録で決勝進出となりました。決勝では若干記録を下げてしまい、8位と1cm差の9位という結果でした。惜しくも入賞を逃しましたが、全力を尽くしました。秋に期待です。



中島 壮一郎(2) 男子5000mW 予選1組 21'36"98 5着 ⇒ **決勝進出!**

決勝 21'24"01 4位 ⇒ **入賞!**

初のインターハイで2年生ながら4位入賞を果たしました。競歩は「身体を浮かせない」「膝を曲げない」という2つの厳しいルールを守る「歩型」が重要で、インターハイでは特に厳しいジャッジが行われます。決勝進出者16名のうち失格者が6名も出た波乱のレースのなか、堅実な歩きで全国入賞を勝ち取りました。来年は優勝を目指します。



実り多き大会となりました。応援ありがとうございました。